

初日 8月27日(月)

教室番号	内容	時間		講演者・司会
	受付・企業展示開始	12:00より		植松 茂男(京都産業大学)
3F-4	開会挨拶(会長)	13:10-13:30		穂屋下 茂(佐賀大学)
3F-4	特別講演	13:30-15:00	「学士力と単位の実質化」	
3F-4	企画(1)ICT活用 教育部会企画:ラ ウンドテーブル	15:10-17:10	「単位の実質化とICT活用」	司会:穂屋下 茂(佐賀大学)
地階:多 目的H	英語音読劇(英語 部会企画):ワーク ショップ	15:10-17:10	「Readers Theatre方式による英語学び直し授業」	浅野享三(南山大学短期大学 部)

発表 1(15:10-17:10) (①15:10-15:35 ②15:40-16:05 ③16:10-16:35 ④16:40-17:05  
 司会は、お手数ですが①、②については④の発表者、③、④については①の発表者にご担当をお願いします。発表時間は20分、質疑5分、交代時間5分を各室備え付けのストップウォッチ、ベルにて、司会者は発表者に厳格にご指示下さい。万一、欠席等でご担当不可能な場合は発表者間の話し合いにて決定願います。PCは据え付けが無いため、各自の持ち込みとなります。VGAケーブル、音声ケーブル、プロジェクター(一部モニター)、書画装置が基本据え付けです。インターネットは通じていませんので、必要な場合各自でWiFiを用意下さい。

教室番号	内容	発表時間	発表タイトル	(代表)発表者
3F-3	学習支援	①	体育大学における社会福祉士養成の課題: 社会福祉士国家試験合格率の上昇を目指す取り組み	辰巳 佳寿恵(大阪体育大学健康福祉学部健康福祉学科)、連名発表者3名
		②	英語宅習ノートを導入して	鞍掛 哲治(鹿児島工業高等専門学校一般教育科(文系))
		③	講義形式の授業における効果的な授業技法の実践と評価	赤堀侃司 (白鷗大学教育学部)
		④	東日本大震災による学習支援への影響	甲斐 雅裕(東京工芸大学工学部基礎教育研究センター)、連名発表者1名
4F-5	英語	①	冠詞って何?: 初級英語学習者の文法用語理解度	徳永美紀(福岡大学 言語教育研究センター)
		②	学齢の差が望ましい英語授業の要因評価に与える影響	鈴木政浩(西武文理大学サービス経営学部)
		③	プライミング効果の知見に基づいたシャドーイング指導法に関する一考察	中山誠一(城西大学語学教育センター)、連名発表者1名
		④	英語多読における成長する読み手と未熟な読み手のストラテジー	城一 道子(江戸川大学メディアコミュニケーション学部)

2日目 8月28日(火)				
教室番号	内容	時間		司会者
	受付・企業展示開始	9:00より		
3F-4	学習支援部会企画: シンポジウム	9:30-11:30	「学習支援のための環境づくり」	小川 洋(聖学院大学)
地階:多目的H	日本語部会企画: ラウンドテーブル	9:30-11:30	「自ら学び, 社会に生きる人材となるための教育とは=親身とフジシヅ」	馬場真知子(東京農工大学)
教室番号	内容	発表時間	発表タイトル	(代表)発表者
2F-23	ポスターセッション	9:30-11:30	英語で学ぶ基礎生物: 摂南大学薬学部における基礎薬学演習事例	曾根 知道(摂南大学薬学部)、連名発表者7名
			教職員連携による「入門演習」「入門セミナー」運営とGPAを含む学士力への反映についての予備的調査: 教職員連携による学生出席率改善と学生学力の相関関係	松本 幸一(九州国際大学法学部)
			神戸薬科大学における補習授業への参加数の継続的変化について	小山 淳子(神戸薬科大学)、連名発表者3名
2F-24	ポスターセッション	9:30-11:30	化学に不安を持つ学生の学習支援の試み	高梨香織(北海道薬科大学)、連名発表者3名
			数学に必要な言語力: 数式とそれを説明することばに関する調査	瀬村 江里子(松本歯科大学歯学部)、連名発表者1名
			学生に自信を付けさせる英語教育プログラムの予備的検討(3): 英語カリキュラム改善のために	大澤真也(広島修道大学人文学部)、連名発表者2名
			ICT活用と授業改革から始める教養教育の体系化	今村 武(東京理科大学理工学部)、連名発表者1名

発表 II (9:30-11:30) (①9:30-9:55 ②10:00-10:25 ③10:30-10:55 ④11:00-11:25 ⑤11:30-11:55)  
 司会は、お手数ですが①、②については④の発表者、③、④については①の発表者、⑤(初年次のみ)については③の発表者にご担当をお願いします。発表時間は20分、質疑5分、交代時間5分を各室備え付けのストップウォッチ、ベルにて、司会者は発表者に厳格にご指示下さい。万一、欠席等でご担当不可能な場合は発表者間の話し合いにて決定願います。PCは据え付けが無いため、各自の持ち込みとなります。VGAケーブル、音声ケーブル、プロジェクター(一部モニター)、書画装置が基本据え付けです。インターネットは通じていませんので、必要な場合各自でWiFiを用意下さい。PCは据え付けが無いため、各自の持ち込みとなります。VGAケーブル、音声ケーブル、プロジェクター(一部モニター)、書画装置が基本据え付けです。インターネットは通じていませんので、必要な場合各自でWiFiを用意下さい。

教室番号	内容	発表時間	発表タイトル	(代表)発表者
4F-5	英語	①	英語が苦手な大学生の自己効力感を高める授業作り—英語授業のイメージを変えてみよう—	牧野真貴(近畿大学法学部)
		②	リメディアル授業でのピア・オブザベーション	山岡華菜子(大阪大学大学院言語文化研究科)
		③	プレゼンテーションから始めるパラグラフ構成教育	橋本喜代太(大阪府立大学現代システム科学域)
		④	英語のリメディアル教育に生かすリスニングストラテジー: 大規模リスニングアンケートから垣間みて	原田洋子(豊中看護専門学校)
3F-3	初年次	①	初年次教育における入学試験別リメディアル学習効果の分析	樋口勝一(神戸海星女子学院大学現代人間学部)・尾崎秀夫(神戸海星女子学院大学)
		②	大学職員が関わる初年次キャリア教育の実践	山内一祥(佐賀大学 全学教育機構)
		③	生活習慣とリメディアル学習	平野真理子(神戸海星女子学院大学英語キャリア学科)
		④	私立文系大学生の演繹力: 推論テストの結果(入試形態別)から	菟尾 由貴子(久留米大学 共通教育)
		⑤	初年次教育における初等教育の移転可能性	清水洋一(東京都公立小学校)
2F-25	ICT	①	Web上に公開されたコンテンツを活用した学習環境設計	穂屋下 茂(佐賀大学全学教育機構)
		②	e-ラーニング講義「リメディアル化学」の金沢大学での実践例	鈴木 健之(元金沢大学教員)、連名発表者2名
		③	学士力醸成への取り組み: e-ラーニングによる桜美林大学の学習支援	本郷 優紀子(桜美林大学e-ラーニング支援室)
		④	モバイル端末を用いた初年次学生に対するリメディアル教育の取り組み	有賀清一(桜美林大学)、連名発表者3名

3F-4	総会	11:40-12:00		米満 潔(佐賀大学)
	展示企業紹介	12:00-12:30		岡 毅(立命館大学)
	(昼食)・企業展示	12:00-13:00		
	図書館ツアー	12:30-13:00	学習支援部会企画: 12時半に受付前集合(1F コミュニケーションラウンジ: 自由参加)	担当: 吉岡 路(立命館大学)

教室番号	内容	時間		講演者・司会
				全体司会:岡 毅(立命館大学)
3F-4	会場校挨拶	13:10-13:30		見上崇洋(立命館大学副総長)
	記念講演	13:30-14:30	「キャリア教育と高大接続」	荒瀬 克己(京都市教育委員会教育企画監・前京都市立堀川高等学校長) 司会:岡 毅(立命館大学)
	会長謝辞	14:30-14:40		穂屋下茂(佐賀大学)
	実行委員会企画: シンポジウム	14:50-17:50	「学習支援における教職協働の営み」	司会:吉岡 路(立命館大学)

発表 III (14:50-17:50) (①14:50-15:15 ②15:20-15:45 ③14:50-16:15 ④16:20-16:45 ⑤16:50-17:15 ⑥17:20-17:45)  
 司会は、お手数ですが①、②については④の発表者、③、④については①の発表者、⑤、⑥については③の発表者にご担当をお願いします。発表時間は20分、質疑5分、交代時間5分を各室備え付けのストップウォッチ、ベルにて、司会者は発表者に厳格にご指示下さい。万一、欠席等でご担当不可能な場合は発表者間の話し合いにて決定願います。PCは据え付けが無い場合、各自の持ち込みとなります。VGAケーブル、音声ケーブル、プロジェクター(一部モニター)、書画装置が基本据え付けです。インターネットは通じていませんので、必要な場合各自でWiFiを用意下さい。PCは据え付けが無い場合、各自の持ち込みとなります。VGAケーブル、音声ケーブル、プロジェクター(一部モニター)、書画装置が基本据え付けです。インターネットは通じていないので、必要な場合各自でWiFiを用意下さい。

教室番号	内容	発表時間	発表タイトル	(代表)発表者
2F-23	日本語	①	大学生の日本語スキルに対する自己評価:Can-do statementsを使った診断調査の結果報告	田島 ますみ(中央学院大学法学部)、連名発表者1名
		②	学生の「気づき」をどう学びにつなげるか	河住有希子(日本工業大学学修支援センター)、連名発表者3名
		③	自律的・主体的「学士」を育てる学習者特性に着目したポートフォリオ	たなかよしこ(日本工業大学工学部)、連名発表者4名
		④	日本人大学生の小論文に見られる文体的特徴:小論文の縦断的分析を通して	山本裕子(中部大学人文学部)
		⑤	学生の作文に見られる話し言葉について:「から」節を例に	大野早苗(順天堂大学スポーツ健康科学部)、連名発表者1名
		⑥	学生の知的好奇心が教材の困難度を克服させる:岩波ブックレットを読ませた学力レベルの低い学生たちの授業報告	要 弥由美(関西国際大学)
4F-5	英語	①	受講生130人規模の英語リメディアル授業:ブリッジ・イングリッシュ?の実践事例紹介	神谷健一(大阪工業大学知的財産学部)
		②	英語リメディアル教育での指導方法-英語の語彙指導に関する考察	田中深雪(大東文化大学経済学部)
		③	日本の英語教育の課題とグロービッシュ	酒井志延(千葉商科大学商経学部)
		④	初級学習者のためのディクトグロス:活発な授業運営のためのツールとして	山本成代(創価大学ワールドドラングージセンター)、連名発表者1名
		⑤	英文法を再学習する大学生の意識について	間中和歌江(東京純心女子大学 現代文化学部)
		⑥	大学(英語)教員がリメディアル教育に活用できる授業デザイン研究(実践事例研究):学習者と教員による協同的関わりと活動を中心に	石井研司(立命館大学言語教育センター)
4F-6	理数	①	知的探究心をくすぐる:なぜ・どうして・なるほど=数学説明力	浦田政則(北海道工業大学高等教育支援センター)
		②	入学前数学教育の事前テストとしてのWebテストの役割	郡司貴之(湘南工科大学工学部)、連名発表者1名
		③	高大連携を活用した初年次数学科目での授業デザイン	今井 順一(千歳科学技術大学総合光科学部)他
		④	大学初年次物理系教育における授業改善とその評価	田中 忠芳(松本歯科大学歯学部)、連名発表者6名
		⑤	新潟産業大学における算数・数学リメディアル教育の目標とその成果/効果の測定について	江口潜(新潟産業大学経済学部)
		⑥	量の体系とグラフ作成を重視した数学リメディアル教育	矢島彰(大阪国際大学現代社会学部情報デザイン学科)

3日目 8月29日(水)				
教室番号	内容	時間		司会者
	受付・企業展示開始	9:00より		
3F-4	コミュニケーション能力育成部会企画：シンポジウム	9:30-11:30	「コミュニケーション能力」の測定方法の開発と育成方法の展開	穂屋下 茂(佐賀大学)
4F-6	新規企画：ラウンドテーブル	9:30-11:30	「リメディアル教育を語り合う」	児玉 英明(京都産業大学)

発表 IV (9:30-11:30) (①9:30-9:55 ②10:00-10:25 ③10:30-10:55 ④11:00-11:25 ⑤ 11:30-11:55(学習支援のみ))  
 司会は、お手数ですが①、②については④の発表者、③、④については①の発表者にご担当をお願いします。発表時間は20分、質疑5分、交代時間5分を各室備え付けのストップウォッチ、ベルにて、司会者は発表者に厳格にご指示下さい。万一、欠席等でご担当不可能な場合は発表者間の話し合いにて決定願います。PCは据え付けが無い場合、各自の持ち込みとなります。VGAケーブル、音声ケーブル、プロジェクター(一部モニター)、書画装置が基本据え付けです。インターネットは通じていませんので、必要な場合各自でWiFiを用意下さい。PCは据え付けが無い場合、各自の持ち込みとなります。VGAケーブル、音声ケーブル、プロジェクター(一部モニター)、書画装置が基本据え付けです。インターネットは通じていませんので、必要な場合各自でWiFiを用意下さい。

教室番号	内容	発表時間	発表タイトル	(代表)発表者
4F-5	英語	①	工業学生に学習の興味関心と呼び起こす工夫：教師側の心得と授業内容での工夫	細川裕司(北海道工業大学高等教育支援センター)、連名発表者1名
		②	音楽および他教科と英語学習における学びの応用	大和久 恵(東京経済大学経済学部)
		③	K大学での自発的で主体的な英語学習の試み	伊東 健(星槎大学)
		④	英文法授業から自由英作文へ	江原智子(環太平洋大学 学習支援室)
3F-3	初年次	①	観光学部における地理科目基礎教育の取組	崎本 武志(大阪観光大学観光学部)
		②	初年次教育受講生の追跡調査	村上 昌孝(大阪体育大学体育学部)、連名発表者1名
		③	留学生に対する初年次教育に於ける、ノートテイキングの指導	國弘 保明(日本橋学園大学リベラルアーツ学部)
		④	学習過程の可視化と共有：—タイピング練習システムにおける事例—	近藤 伸彦(大手前大学CELL教育研究所)
2F-25	ICT	①	ICTを利用した小・中学生向け学習教材開発能力の育成	米満 潔(佐賀大学eラーニングスタジオ)、連名発表者4名
		②	授業筆記で解明する明治期科学教育の源流とその現代的再構成	小林 昭三(新潟大学教育学部)、連名発表者3名
		③	LMS利用促進を目指した授業での授業改善プロセス	藤井 俊子(佐賀大学全学教育機構)、連名発表者2名
		④	e-Learningを用いた入学前教育が大学4年間に与えた影響	森川 修(鳥取大学大学教育支援機構入学センター)、連名発表者3名
3F-31	学習支援	①	勉強嫌いの大学生達に英文数学を解かせた事例の考察：GLEP問題による学習動機づけの可能性	鷲北 貴史(LEC大学総合キャリア学部 基礎学力支援センター)
		②	自律学習支援を目的とする、統一的基準に基づいた入学前英語教育用教材について	永井典子(茨城大学人文学部)、連名発表者3名
		③	メタ認知ストラテジーの養成へ向けた学習記録の活用	佐藤 恭子(追手門学院大学国際教養学部)、連名発表者4名
		④	リベラルアーツ型大学における学習支援の取り組み	石毛 弓(大手前大学現代社会学部)、連名発表者1名
		⑤	「聞き読み」のためのデジタル日本語教材作成とその実践報告	宮本 典以子(東京工科大学学習支援センター)、連名発表者2名

	企業展示	11:30-15:00

4F-5	英語部会企画:シンポジウム:「英語リメディアル教育について私はこう考える」	13:00-15:00	「英語リメディアル教育について私はこう考える」	清田洋一(明星大学)
4F-6	新規企画:ラウンドテーブル	13:00-15:00	「教育広報のあり方を考える」	長尾佳代子(大阪体育大学)

発表 V (13:00-15:00) (①13:00-13:25 ②13:30-13:55 ③14:00-14:25 ④14:30-14:55)				
<p>司会は、お手数ですが①、②については④の発表者、③、④については①の発表者にご担当をお願いします(コミュニケーション能力育成に関しては、①、②については③の発表者、③については①の発表者をお願いします)。発表時間は20分、質疑5分、交代時間5分を各室備え付けのストップウォッチ、ベルにて、司会者は発表者に厳格にご指示下さい。万一、欠席等でご担当不可能な場合は発表者間の話し合いにて決定願います。PCは据え付けが無い場合、各自の持ち込みとなります。VGAケーブル、音声ケーブル、プロジェクター(一部モニター)、書画装置が基本据え付けです。インターネットは通じていませんので、必要な場合各自でWiFiを用意下さい。PCは据え付けが無い場合、各自の持ち込みとなります。交代時間の十分な確保をお願い致します。VGAケーブル、音声ケーブル、プロジェクター(一部モニター)、書画装置が基本据え付けです。インターネットは通じていませんので、必要な場合各自でWiFiを用意下さい。</p>				
教室番号	内容	発表時間	発表タイトル	(代表)発表者
3F-3	学習支援	①	マイケル・サンデル型授業で教員や学生がどう変わるか	山内 尚子(京都産業大学 教育支援研究開発センター)、連名発表者3名
		②	授業期間外の学習支援が学生に与える教育的・心理的効果	青山佳代(愛知江南短期大学 現代幼児学科)、連名発表者1名
		③	「リメディアル教育」と「初年次教育」概念使用上の混乱に関する一考察	谷川裕裕(四国大学短期大学部、学修支援センター)
		④	長浜バイオ大学の「バイオ学習ワンダーランド」	高橋 敏宏(長浜バイオ大学 学習・就業力支援機構)、連名発表者6名
2F-23	コミュニケーション能力育成	①	グループワークを利用した授業態度改善の試み-英語学習が苦手な学生を対象として	中村 紘子(武庫川女子大学文学部)
		②	コミュニケーション力育成キャンプ手法の変更とその効果	西村典芳(神戸夙川学院大学 観光文化学部)、連名発表者1名
		③	SNSの問題解決的利用方法の検討	廣田 有里(江戸川大学メディアコミュニケーション学部)、連名発表者1名
3F-4	理数	①	文系大学における統計教育の試み	井上秀一(帝京大学総合教育センター)
		②	パソコンを利用した演習の導入による数理科目の理解度向上の試み	西 誠(金沢工業大学 基礎教育部)
		③	新潟産業大学におけるリメディアル教育の組織体制と教職員間の情報共有	押見 操子(新潟産業大学 教務課)、連名発表者1名
		④	山梨大学工学部共創学習支援室の利用傾向	岡村直利(山梨大学工学部)、連名発表者3名
3F-4	閉会挨拶(実行委員長)	15:00-15:15		岡 毅(立命館大学)